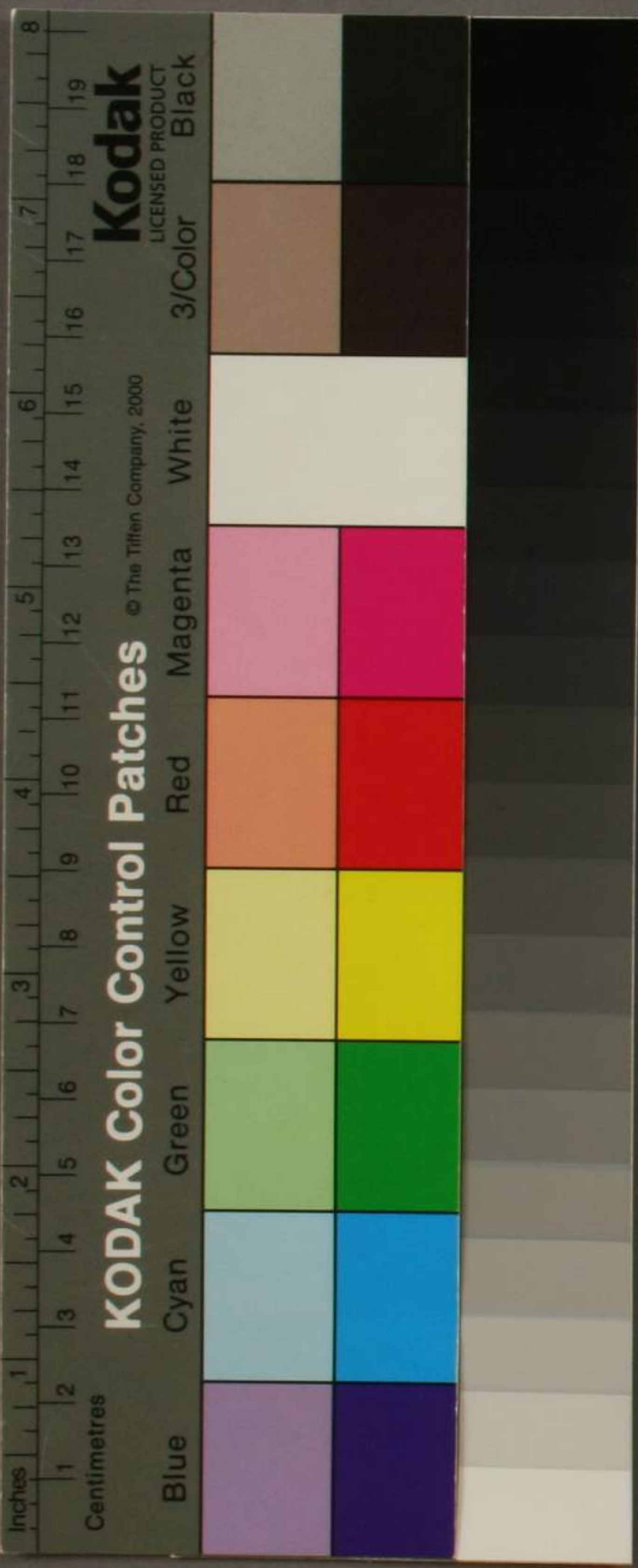
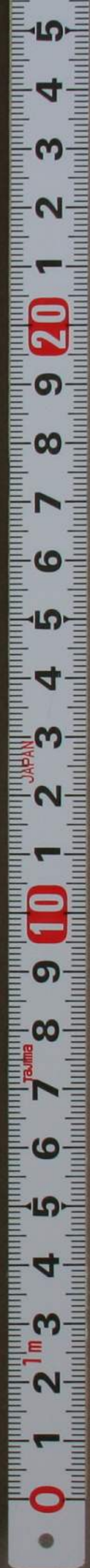
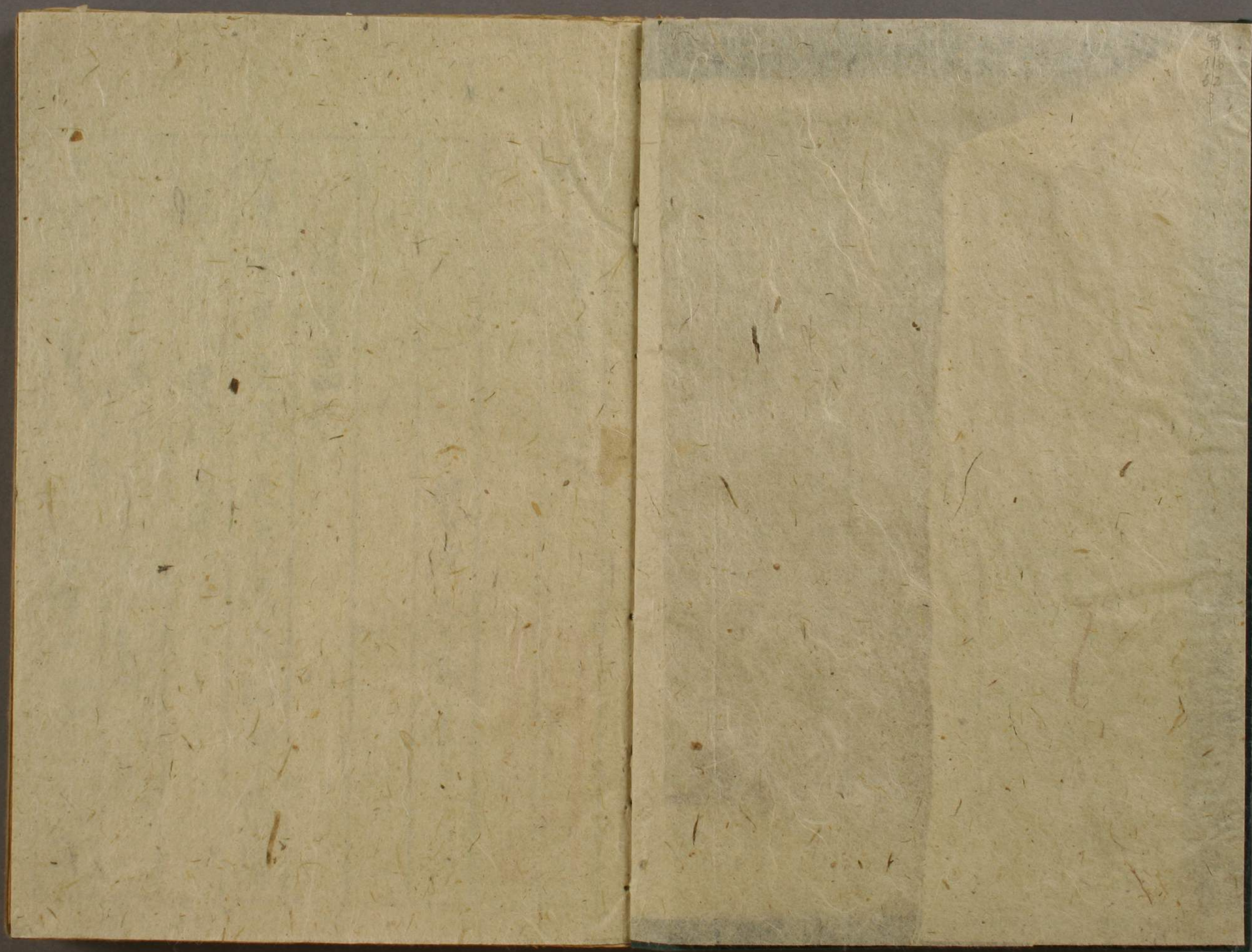




洋学文庫
文庫 8
A 11
3





漫錄卷之三



般若水子隨筆

後藤十四代

祐乘 宗乘 乘真 光乘 德榮 顯即 程一 廉

通一 壽一 ^三 樂 ^光 光守

十二月異名

ヤミアス へアリ マルト アサリル 五月
五三ウス ちんを 五三ウス 五月

ヤミアス マル ^三 ^五 ^七 ^九 ^{十一} ^{十三} ^{十五} ^{十七} ^{十九} ^{二十一} ^{二十三} ^{二十五} ^{二十七} ^{二十九} ^{三十一}
ヤミアス マル ^三 ^五 ^七 ^九 ^{十一} ^{十三} ^{十五} ^{十七} ^{十九} ^{二十一} ^{二十三} ^{二十五} ^{二十七} ^{二十九} ^{三十一}

べんま

へブリアイ ^四カッブリ ^六イユニウス ^八アウガス ^十ラクト ^{十二}ティ

べんま

ユリウス アウガス スキピオ テム
オクタウィウス セザル

但来先生戲作

琉球聘使記

宝永七年庚寅十一月十一日薩侯源吉
貴率琉球國中山王聘使入都正副使
各二員美里王子為賀我
新政来也富盛親方為副豐見城王子、廼為
其王襲封謝恩来也與座親方為副二
親方共擲紫巾大夫蓋其國官云賀議官
二員志堅原親雲上新城親雲上樂正一

員江田親雲上儀衛正七員佐久本親雲
上掌翰史二員屋宣親雲上宮城親雲上
團師一員真喜屋親雲上使贊十員知念
里子親雲上嘉子親雲上喜屋武里子
親雲上玉城親雲上湧川親雲上久場筑
登親雲上伊作筑登親雲上仲峯筑登親
雲上前川里子仲原筑登親雲上樂師五
員照屋里子親雲上安慶屋親雲上保榮
茂里子親雲上棚原里子杏山里子樂童

子八員伊舍堂里子根路銘里子内間里
子小祿里子津霸里子野國里子内嶺里
子系滿里子鑿師一員宮里安忠鼓吹工
以下至跟伴百三十四名皆館於薩侯高
繩部十五日薩侯吉貴入觀十八日率美
里豐見城又朝城味夾從高繩部來肩
輿由芝口達郭内幸橋筑從此二王子乘
屋轎副使以下至樂童十皆跨馬鼓吹導
行成列而進觀者如堵歷霞關坂由外櫻

田門過西城下穿曲倉至端門皆下轎馬
以至登廳每過一門鼓吹並起正副使皆
人必終一闋迺進以故比入次所蓋午牌
矣是日御服緋直垂群侯倍坐者亦着直
垂二王子黑幘頭緋袍緋蔽膝銀花束帶
不鈎白鞵不靴爲殿上故也不持笏亦莫
有它佩綬方心曲領等飾其露領上者似
是白中單矣大庖間上段設法座疊席
二宗三室蒙以緋帕四結流蘇東方結也

上鋪緋褥三御簾中裏左右垂下段右班
會津侯源正容土浦侯源政直川越侯藤
原喬知沼田侯藤原正永小田原侯藤原
忠增笠間侯源政岑桑名侯源忠雅皆東
面坐參政官皆在其後楹外先儀進物官
携五品服陳中山王執賀方物於下段楹
外西南地板上儀刀一口馬一匹螺鈿卓
子二螺鈿硯屏二螺田大盒子二青劉十
枚黑者十枚縐紗五十匹蕉布條紋者織

成畦者極薄者各五十匹大平布百匹久
米綿百把壽帶香三十函毫涎香百把阿
滑熟喇酒十壺其馬則內廐令諏訪部某
着青襖毫立庭上國俗所稱黑鹿槽毛者
其勒幣制一如此方者止絡頭上更旋一
勒而勒值鼻處絡頭值額處皆著紅絲團
領下垂紅氍毹與馬衣相連為殊已於是
大執法引美里豐見城祇位譯官從然後
薩侯吉貴進就中段南楹外伏謁謁者永

口侯源忠利唱名乃退就下段左班西面
坐位值會津土浦二侯之間其爵貴高正
客一等為其在外藩故避遜爾群侯四品
以上者皆在其後楹外少選大執法再引
美里就位進立下段中央少後謁者岩村
侯源乘紀執其所齎儀刀儀單進道中段
退就下段唱名美里九拜鞠躬而退撤前
方物更陳中山王謝恩禮物儀刀一口馬
代白金五十錠別金阜子圓者二別金大

盒子二、蕉布條紋者練者薄者各五十匹、
大平布百匹、久未綿百把、阿滑默喇酒五
壺、大執法又引豐見城、就位謁者太多喜
侯源正久儀如美呈、又悉撤陳二王子私
見贊美里、則壽帶香十盞、官香十把、大平
布二十匹、條紋蕉布二十匹、阿滑默喇酒二
壺、謁者神戶侯源總茂豐見城、則官香十
把、香餅五函、練蕉布十匹、條紋者十匹、阿
滑默喇酒二壺、謁者生寶侯源重興更就

下段南檻外、三拜鞠躬而退、最後薩侯之老
島津帶刀者執其贊亦進於二王子私見
位、俯伏稽首而退、亦唱名中山王寶為薩
附庸、而其使人與薩侯之老比者、
國家柔遠之意、故見優待焉耳、美里所齎上
閣老書曰、謹裁尺楮呈上、閣下恭聞貴

國

大君新紹

國統四海昇平、万祥畢臻、如吾小邦亦不效

花封之祝乎今茲特遣小臣美里王子捧
不腆之方物從我薩摩少將吉貴謹奉申
賀儀伏冀諸大老採納焉崇達

台聽曷任悚踊之至誠惶不宣室永七年庚
寅五月三日中山王尚孟謹上土產相摸
守殿小望原佐渡守殿秋元但馬守殿本
多伯耆守殿大久保如賀守殿井上河內
守殿其豐見城齋書曰敬修尺素奉表微
志本年薩摩大守少將吉貴遵依

鈞命之旨許寡夫嗣先人之業敝國無異歡
忻何極茲欲拜謝洪恩從於吉貴遣小
臣豐見城王子獻上輜輶之土宜伏冀以
諸大老指效崇達

台聽不勝感激之至誠惶不備室永七年庚
寅五月三日中山王尚孟下同其

大君台聽鈞命皆二握頭書賀儀室永皆
一握頭書貴國々統申字皆子行平頭書
諸大老上空一字尚孟及小臣美里豐見

城王子皆細書而中山王與尚益雁行斜
屬如國俗常用書式謹上與庚寅相值閣
老稱呼皆子行起筆其辭較諸故尚負時
書雖則駿々然花風乎亦孰若純和之爲
愈也其以貴國稱我寡夫自稱而使耆稱
王子以與薩廣中將語相當者猶儼然敵
國自處而臺官不刻大不敬豈以夷故羈
縻不責備邪二十一日薩侯又率美里等
奏其國使於御前御服鬱金小直衣群

侯皆狩衣二王子則糾袍御座及群侯位
次如十八日儀二王子坐于下段南搥外
東班俯伏及樂作延昂首其樂首太平調
照屋吹噺內間津霸橫笛皆居後鼓小
銅鑼新心伊舍堂銅鑼兩班小祿三金根
踏鉦三板野國皆在前次桃花源伊舍堂
搥鼓兩班小祿鼓銅鑼金鑼它同太平調
次不老仙亦同太平調次揚香明曲也伊
舍堂吹管內間曼胡琴它樂器皆撤衆工

齊唱曰揚香打虎方拾四性紙良父到
孝同往田庄田邊獲栗轉過入崗見一猛
虎奔父猖狂將父啣去怒殺揚香暖向前
救父手無刃鏢踴躍前進持奉奔忙只知
有父不顧己亡按虎頭上暖揮拳頭踢眼
那箇老虎走了方保父親終是無恙為學
當知趨向論終身須盡德讓溫良求仁末
入仲堂安貧且卧顏回巷是男兒志氣
努力自強聖賢經傳潛心會講奎光直透

三十次壽尊翁清曲也津霸彈長線得
舍塵擲琵琶真詞曰壽尊翁壽北南山高
壽等綿綿以福海滔暖啣壽爐香壽香
飄紗壽尊前壽燭的光輝壽增丹霄壽筵
中捲到着壽酒佳釵又只見花果山有一
箇猿猴來献仙桃既罕有
命又奏長生苑次芷蘭香眾工操樂盡皆同
太平調次壽星老亦明曲也伊舍堂吹簫
小祿彈二綿內間津霸三線根路名野國

四線其詞曰壽星无々壽星你就騎上了
仙鶴東方朔半空中過見仙明喚紫微
星父曲星你就齋々來到八仙來禮送王
母賜蟠的桃斟上一杯仙酒神仙你的長
生再不老有伊尹昔日身貧困夏梨鉤親
稼稱太的耕有莘喚樂堯天歌舞日能
安分一朝逢聖主三聘建邦的勲青史標
名光耀榮畫錦次正月亦清曲小孫彈長
線琅路銘擗琵琶其詞曰正月裏看罷了

燈清明來到出閣門大馬頭走過了吊橋
喚喚挑危塢杏花的村看々來到黃家楓
山難得遠觀音山高又高右邊了白楓橋
細思量歡喜虎丘山好次三綿歌琉曲也
內間津霸對彈三綿曰結懣諾希有大骨
刺沙啲奢華捺屋列割捺有是更他鐵鹿
彩色子僕突阿兒瓮捺諾同元朱子由麻藥他
我多華云如帶其樂器橫笛長二尺三四寸
許兩頭繫紅絨有流蘇銅鑼二枚雙懸架

上架兩端左懸西班狀如椰子右掛二鼓
下有牀々々狀復類小銅鑪而鼓左畔
安新心々々狀復類小銅鑪而鼓者間敲
二器以爲節三金其形如品字下有柄亦
有杖擊鳴蓋雲鑪類也三枚即拍板金鑪
如御盃管長二尺許其聲如尺八而低胡
琴七絃絃設柱如琴下有脚杖軋作聲
宣簫和琵琶似坎方者四隔因如橫筒更
設几柱于其腹極庫而五長四短手搗不

用揞風眼極纖搖則鏗兩有聲想其腹中
有物是爲異耳三線長一丈七八寸許二
線類之長線四線皆長三尺許諸絃聲皆
不甚響亮云二十三日又朝城告辭美
里等着紫袍其儀太抵復同十八日
御賜中山王白金五百錠綿五百把金襴
二十以答賀儀也白金五百錠光緞紅白
各五十匹八丈布五十匹以答謝儀也美
里豐城各白金二十錠時服十西部從人

亦各白金三百錠。閤老答中山王書付美里曰：大使美里子來接琅函，就審途聞御代始即獻方物，以進賀。特有御旨禮待踰常儀，誠是賢藩之榮幸也。

賜物如目錄附歸使訖，更具可在薩廣中將報知候。誠恐不備，寶永七年庚寅十一月廿三日，土屋相摸守源政直、秋元但馬守藤原喬知、本多伯春、守藤原正永、大久保賀賀守藤原忠增、井上河內守源正岑。

頭下脫買
藩二字

奉復中山王問下其付豐見城者曰：信音累至，仍表為告。賢藩義襲更特差使者豐見城王子獻方物以進謝誠意，遠著慶幣愈加幸甚。之至候賜物如別錄附使者還餘悉薩廣中將可有報聞者也。誠恐不備，下同御代御旨賜物慶幣。寶永皆單擡頭。子行平頭書奉復雙擡頭而中字上不空。三十日二王子朝。

憲廟茂卿問嘗陪下館丹侯話得與聞其二三

朝城夏幣略以臚列如右云而是日廼
聞其還由城東歇道距我護國僅二町許
則就街上民家以縱觀其人物冠服儀從
次勇也同行者僧者洲知立六目所覩彼
此更徵以得悉其纖悉莫有挂漏已祇以
雪故涼傘不張轎簾垂掩不甚美觀爲可
憾焉在先薩府監騎四員皆着六品服導
行次黑幘頭跨馬者一員帶跟伴二名衣
家一傘一想儀衛正也次鞭二張旗二上

寫金鼓二大字次銅鑼一兩班一銅角二
喇叭二嘖呐二鼓四皆兩之作行次虎旗
二畫神虎虎而翼者次朱牌二金漆寫中
山王使美里次涼傘一緋三層簷一人展
臂把之柄甚大而把不合也人美其蠻力
次黑幘頭緋袍美鬚髯者乘肩輿從旁窺
見其褶刺繡麒麟而眉宇間有貴人相段
使莫有牌識亦可知其爲王子也輿左右
黃纏頭者二人羶帽者六人扶行後有執

龍刀一傘一鎗一其鎗作大拳頭握金蛇頭尾俱舉者狀怪惡駭人竜刀則如畫關帝所提者行尉一衣家一蒙虎皮屋轎一屋及簾皆描白靄偶風吹簾揚而露其轎中椅則金朱爛然次牌二亦朱漆上寫中山王使豐見城七大金字次乘肩輿者一人冠服儀從一如美里但覺標格稍不如也聞年皆二十有九是刘老矣竜刀衣以虎皮鎗套裝龍鉞亦為不同次黑幘頭黑

袍白鷗褶者二員亦皆乘肩輿而所坐馬牽後各帶跟伴六名傘一衣家一其衣家上前者以翁字後者文字為號蓋二副使也次黑幘頭騎馬者三員為贊議官及樂正其跟伴各三名傘一次樂童子七員頭戴金花皆下馬而坐肩輿各二跟伴聞彼中左風甚盛而所觀不甚愜豈為路上風塵沆邪唯一衣碧者頗佳則街上觀者喧甚聞其奏伎御前時以獨無雙子故皆

疑其國中貴公子為壯遊潛來也次三騎
亦皆戴幘頭各帶二跟伴一傘掌翰史圍
師邪次十三騎皆黃纓頭跟伴亦各二名
按籍使贊十員樂師五員保與王子轎側
各從二員則多二員而樂童子少一員加
以鑿師一員其數適足而不可知其誰某
也薩府頭目肩衣者十騎六品服者四騎
押後方今胡閨中國文物掃地薄海皆鼠
辦獨最尔小島猶存明儀髣髴較諸王會

圖上者不啻勝之是則國家神威所護
持庇賴亦大矣哉雖然吾羨其雍容都雅
雖薩府諸員長劍怒馬意气揚々廼覺大
減氣象也未知其朝城時與殿上諸貴
人如何已但其麒麟褶傘頭銀浮屠從何
得之蓋僭也臘月十八日出都還其國
相傳彼中暄甚稻歲再秋冬衣不絮此未
怯寒殊甚以故薩侯悉絮其衣尚且有病
凍死者在秋時猶爾況值以票冽之日官

游不皆可憫哉又其於羸博間一切不用
浮屠法識其碣曰琉球燕姓中西筑登之
墓燕姓中西筑登之者琉球中山王使美
里王子家臣也從美里王子往江都時室
永樂年庚寅十一月二日因病死喪於遠
州濱松馭行年四十埋屍於西見寺者也
國官人泣血誌亦在花和間兵有傳其邦
謠歌者低附干次曰欲諾捺渴諾捺來
乙子目渴你薩刺滅句諾骨兒喜多奈句

薩滅末尺諾由苦烈又一曲唱妓所唱曰
一多藥捺茄句骨々鹿滑你句阿刺沙拔
句諾欲鐵汰我鹿默諾句渴說你啲呂渴
皆似萬葉集中者

此篇而外亦又集以爲歌作也唯乞
飲作爲之想因事暇以不
必言焉

山飯米

月池桂公曰山飯米トテ和名。。字面甚漢名、飯タリイカレノテ
カク名ケタルヤイブカレト多年疑じヤリシガ頃紹
興府志ヲ讀ミ山奇糧ノ名アリ荒年ノ食糧ト
ナレテ甚タ佳キモノナリト説テヨリテ思フ仙遺糧ト
又其意ニテ山飯米ハ山奇糧ノ轉テ和俗ノ
ミダリニ填メタル字ナシ徵瘡秘録ニハ山ヲナリ糧
良ニ換テ奇良ト書キタリ

江魚

木

曾煥卿余ニテヤレノ名義ヲ諮フ余應ルニ未詳ナラズ
イ、必ス異邦ノ汽ノ物ナルベシ和蘭ニハベツキ又

ヒツキト云フ或ハ恐ル
桂公曰 松ノ唐音ナラニカトイ、キ頃

瓊浦偶筆

免通厚元燈

或得之失或抄錄涉筆更之細微然不遑類聚稽古錯雜并備余之易忘耳

上二 本名溪鰓 俗呼鰓魚ハゼ 俗呼年後又名鰓鰒
 トシボハゼ 本名杜文魚又ハセ又ハセ土附又呼黃鰓魚船石魚
 又名鰓土名伏念魚。シロウシ 本名膽殘魚又呼王鰓魚
 銀魚
 ロタイ 本名棘長鰓魚又ハセ古鰓魚又呼鰓青

鮓魚俗名鮓鮓又黃山魚。朝解時做這味魚。

般步操奔列章苑了宋志云棘如魚、其如魚剛如棘、
 故呼棘如魚、又其如魚赤赤呼赤如魚、魚味要在首、味
 豐云在眼、黃人多煮酒蒸之、以爲珍味、十月此魚得時、正月以
 後、則味拘不可食。人或以膏遠所煎、非已見于宋志、

ヲメタイ

俗呼音 嘴魚
タチビダイ

本名龍鮎

名々

本名烏頰

不
干

本名鱸魚又四鰓魚

クナ

俗呼白鮓

三ノ口

本名鱖魚又油鱖俗呼黃魚

ボ
ラ

本名鯰魚又子魚俗呼柳根鱖或云之烏魚

エツ

本名狗母魚

アコノウ

俗呼飛鳥魚

エイ

本名燕魚尾有毒刺者名魚魚俗呼鍋蓋魚

サリ

俗呼竹魚又名嘴尖魚

キス

俗呼飼子飯又決梭

サバ

俗呼青花

アデ

俗呼鮫鮫音巴老

カマ

俗呼梭子木名梭魚

ホシカス

俗名一字卷

カナシラ

俗呼六角魚

アゴイ

俗呼背輪又馬頭魚
方頭魚「黄花」

オホシ

俗呼鸚哥魚

イワシ

本名鯧魚俗呼鯧

トヒウラ

俗呼羅槌

イトヨリ

俗呼金線魚又金線魚

ヒイラキ

本名花鈴
俗呼狗鯉魚

イツカキ

俗呼鰯魚

コウムキ

本名鱈魚音毒

ヒウラ

俗名馬回
肥前海
多有

マツカサ

俗呼草枝魚或
云海牛

コナ

本名牛尾魚

鰻按今之所云魚席主或本中京始
載海牛字此俗名ヌメワ也

ラス

一名ダツ
略似馬鮫本名路馬魚

ホウボウ

俗呼國公魚又飛
角魚鰯公魚

アヲ

俗呼朱鱸音魚

シヤコ

本名鰻姑

オヤ

俗呼海蛸性寒滋陰
出後前海

スワシ

本名鰻又名團魚
名神守俗呼脚魚

石ガメ

本名水龜又呼玄衣督
郵俗呼烏龜

バイ

本名黃鰻俗呼
王鰻

タイギ

本名馬甲柱俗呼類鳥或以此
為江瑤柱非是江瑤別物蟹
按此說却誤

本名田螺

イタヤカイ

俗名羊邊蚶

カワラ

本名鰻魚俗呼鰻鱈又作
鉛鍾按異物志載戴帽魚
名祐或類堅魚堅魚見本朝
式文

ナマコ

本名海參

イシモチ

俗呼鯪鰻ハ音マ

ギョウ

俗呼沙鮫音モ

ハヘ

俗呼鯪鰻音倉

アウ

俗呼鯪鰻

アイウ

俗呼象耳又梁矮

マナカツ

本名鯪魚又鯪魚又鯪鰻魚又昌鼠

カレイ

本名鯪又比目魚俗呼鞋底魚又貼沙魚

モナカイ

俗呼土鯪

アレウ

俗呼厘等魚又蝦蟇魚

フゲ

本名河豚又名鯪鰻又鯪鰻又鯪魚噴魚吹吐魚氣色魚俗呼鯪魚

クジラ

俗呼海狗本名海鯨ワニ

本名鯪魚

イルラ

本名海豚又海狒カゼブカ

俗名犁頭魚又呼犁頭沙魚

サメ

本名鯨魚又沙魚鯪魚フリ

俗呼海鯪

サワラ

本名鯪鰻

フキサワラ

本名泥鯪魚俗呼土鯪

ムワ

俗呼花鯪

トチヤウ

本名泥鯪又鯪魚俗呼土鯪

ウナギ

本名鰻鰻又白鰻又蛇魚俗呼烏鰻又鰻魚

ハモ

本名海鰻鰻又慈鰻又狗魚

タチウラ

本名白帶魚

ナズ

本名鯪魚又鯪魚鮎魚俗名泥鰻

クメコ

本名石拒々或作鯪音同

イ、タ

本名章魚又章舉又債魚

イカ

本名烏賊又烏鰻墨鰻魚

ヤクナイカ

本名鎖管又名班

キタコ

俗名鉄鰻

ホシイカ

俗呼蜆蛸

スルメ

本名鯨魚

ウシタケ

本名以替蛸

クフダ

本名水母又海蛇又石鏡又標蒲魚俗呼蛭
又呼海蜇 標按海蛇當化海蛇

クラゲカサ

俗呼炸盤

イセエビ

本名海蝦又紅蝦俗呼
龍蝦

シラエヒ

俗呼白蝦

テナエヒ

俗呼大脚蝦俗呼大蝦

ゴエヒ 俗呼蝦
赤

本名黃尾末
尾或化枝

コタイ

俗呼鯢仔

シロダイ

俗呼鯨頭魚又
白鯢

俗呼虎魚

ヒメナ 其色
赤

俗呼胭脂魚

モロダ

俗呼青飛魚

シタケ

俗呼鯢魚

音速

アラダグ

俗呼紅糟

ヒサ

俗呼石鰯

ワセ

俗呼壽仙魚

ハタサシ

俗呼旗魚

シヤチ

俗呼飛龍

シビ

俗呼金鎗魚

俗名土蝦

アミ

俗呼鰕魨

本名海馬又水馬

カセガニ

本名蟻 出廣東
通志

タウチガニ

俗名茨荷

カニ

本名蟹又鰕鰯又郭索又橫行介士又魚腸公子
皆釋名 按釋名當化別名

ツガニ

俗呼毛蟬

ツホガニ

本名蟬又蟬

ロガニ

俗呼沙裡狗 ウシキウ 又塊 本名鰻魚

アワヒ

本名石決明俗呼 鮑魚鰻魚 ヨメノサラ 俗呼石螺 音暴又龍目 又鋪螺

アカイ

本名魁蛤又魁陸又 ハツクリ 本名車殼 俗呼蟻 蚶俗名瓦屋子 又尾 龍子

アサリ

本名文蛤又花蛤 シ、カイ 俗呼蚶 出臺灣府志 俗呼蛤仔

ウバカイ

本名蛤蜊 し、こ 本名蜆又扁扁 俗呼蜆 俗呼毛蜆

カキ

本名牡蛎又牡蛤又 チガイ 本名蜆出福建志 古貢又蠔俗呼蛎黃

シヤムカイ

俗呼青曼 ツキヒガイ 俗呼日月殼又日月蠔 又磳礪

イガイ

本名淡菜又 マテ 本名蛭俗呼土蛭 殼菜一名海蛭又 竹蛭 名東海夫人

ミルクイ

俗呼江蟹浙江志名 メウシヤ 本名土杯又江蟻俗 日西施古 名海豆芽

ウニ

本名海膽 オウ 俗呼响螺

サイイ

俗呼參螺又 ニシ 本名莢螺 草螺

ツルニナ

本名珠環 ハナニナ 本名花螺 環環ノ誤

ムキニナ

本名牡鐵出沈 ツベタ 本名油螺出福建志俗呼 肉螺又酥螺又觀音髻

オウゼウ

俗呼鐵釘螺 子コカイ 俗呼和尚螺 俗呼土鐵

ガウナ

本名寄居虫
又寄生

ヒヨロ、ガイ

俗呼螃

右水屬

ヤギウ

山羊此本細載
山羊不同

カモシカ

鹿羊又羚羊
鹿羊九尾

ヲレドリ

黄鴨即匹鳥也

モス

伯鷄又博勞又鴟又鵲

コカモ

鷓鴣又須羸又水
鷓又鷓頂又鴨
又水胡盧又油鴨

クイナ

鷓鴣俗名又野竹雞

シギ

鷓又機口鳥

アラシト

蒿雀又黃雀

ウグイス

俗呼柴鷓鴣

カイツブリ

水鷓鴣俗名水裡鑽

ハン

田雞

コイサキ

俗呼水鴨兒又布魯

右禽獸

セウロ

松竹孤又松乳元愷云廣東志云其露子一名地盤如
小積如耳環將因食晚美蓋謂松露也般按屈大均廣
東新語

センテ

千日紅別名未詳

ツダケ

松繖又紫麻姑

ワケキ

冬葱

アサキ

香葱又麦葱

子ギ

夏葱

ニシク

大蒜又蒜

ニラ

草鐘乳
又起陽草

フクナ

蓬蒿又芥蒿又薄
荷梗

スミシ

山蒜又金蓮
又臭頭香

レンジ草

累似瓦花抗之雖無水而不
枯旱蓮又火丹草

イワレシゲ

山薔薇又
瓦花

ホクリ 蘭 石蘭又帶草

ルウダウ

空栗香又臭蒿
又土荊芥

ハコベ

繁縷又秋烏腸菜又驚
兒腸

ヒヨドリジョウ

緑毛帰又青子

クサキ

臭梧桐又番木梨又野
水梨

クメモトキ

凉茶

モチキ

白芷又野松

モツコク

百歩香又野
桂又山瑞香

ウツキ

山紫荊又溪柳

オウゴンヤ
ニシキ

辣蓼

ノヒル

野辣蒿又野薺

ビヤクレン

俗呼檜栢

ハクス

香樟

ヒノキ

檜栢

エノキ

沙櫟又過羅樹

カエデ

野雞楓又機楓

アラキ

榲桲

ハナ

急珠樹

モミ

土杉又溫杉又柳杉

シイ

椎櫟

子ぎモチ

久し昔

右生植

シロツカイ

湖絲

クズツカイ

乱線又屑線

ツキハハヒ
チリメン

雙連加幅
紋

チリメン

縞紋

シヤ

夏紗

モシシヤ

白絨紗

モシチリ
メシ

錦縞

トヒサヤ

大花袖

クロビユス

元書八絲緞

シロシヤ

銀條紗

シユス

八絲廣緞

クリヤウ

蒙絲緞

ゴフリン

羽毛緞

タケナガ
ニナリメシ

加長大紅紗

シシキン 唐ラ
シヤ

哆囉呢

全シヤ

大紅呢

クロミシキン

多色呢

ゴロ

線緞又油線緞

生

牛良緞

ヌメリズ

聖綾

タケナカ
リシズ

長ス綾

ヤマエ

蘭細

リシマ

綾機油

シマシユス

柳条八絲緞

ナミザヤ モ
シヤ

線油又界地

ビラウド

羊絨又前絨

金入ビロウト

金花絨

クリヤウ

五絲緞 前云蒙
絲緞

カクキモシ

花布

サツチ

西洋細

カサキ

西洋布

アヤモシ

針紋布

イロドレス

色緞

アカモウセン

紅毡

ハナモウセン

花毡

ホロモウセン
ククリツメセ

襪魯毡

メレツウ

雀紋

ニシキヨリ

肉錦緞

チヤウ

兒女絹

カイキ

閃緞 経緯石同布
皆云閃

リンス

聯後 又備又連
素後

無紋サヤ 紡綯

右足帛

吉餅

こきりけ

梳垣

クシカタ

螺柱

ふじ

臘乾

もじき

加紋席

こへう

鳩甲

クスリヤノ看板ノ
鰐甲

火鏈子

燃出火サ

飲片

刈菜

孩兒香線

カラコテ線香

天蚕絲

テグス

科藤又魁藤

トシ

水藤

割トラ

塩末

クキツケ

桂元

海胆肉

桂圓

全上

戒指

ユビカ子

片刀

ナギタ

槍

カッヤリ

雌金名換

ヤスミ
じん

臭婆娘

ノヂ

九龍草

キツチノミノカサ

篇頭草

コヒキ

燕脂花

シロイ

野良妻

こりか

神似草

トリノアレ

鼓椎坑

コノツナ

樺皮膜

ドクミシ

蛇夢草

ササノイナギ

牛乳刺

ツニアサミ

雪裡青

ダヒラフ

酸眉草

カタハミ

龍鳳藤

イトカワ

火疸草

シシケウ

接骨草

ムゲラ

山棟青

ヤブカラシ

石珊瑚

クワスイチ

光石蚕

シダ

一遍草

ニワヤサキ

馬蘭頭 ヨメナ

衣合草 ノエントウ

珍珠蘭 ナナシ

破涼傘 フキ

官司草 ヲバコ

辣蕪 ヲノタテ

佛指甲 ツメヅタ

浮苔 クハノツメ

糊麻竹 イタドリ

灰葛

アササ

楠木

シロ竹

泛潮

シヨリ

又置滾

カキマウス
ニハカ(ルノミ)

僉名

連名

蓋印

詮文ナト損ミ所ハ印ヲ押シ
置ラズ

其結

キツト請合ナリ

回凡

凡ヤリヨリ回ル

里太陽

タト

扞活 タズキ

換次 シダイダシク
ノ義

點卯 又西卯 當番 卯時
出ル故當番交也

浼属 又央托 タノム
即央属ノ意

面頁 本ノ表紙ナリ又書皮
書面ニ云

巡風 凡ミワリ

手摺 手ヒカヘノワリホシ

勾當 ヒキコム

伊何

如何ノ如シ

包攬

ヒキウケル

毛病

ヒキカウク
クセ

講價

直グミ

去票

入札ナリ

装銅

銅ツミ

領牌

信牌
領受

用船

出帆

名冊

人別帳

傾塌 クニル クズレル

挑唆 ヲダテ ケシカレル

彈兌 天秤ニテカケル

挿番 商人ニ貨物ヲミ
スル

出貨 荷物ヲミ
出ス

裝苞 儀物ツミ

放船 船ウケ

貨典 荷物帳

鈕子 オタシ

襖袴

キヤハシ

短靴

日本タビ

冊頁

折本 盤據 芥子園
虫魚叙作冊頁

捲

一ト丸ノ丸ノ如シ及物ノ巻キ
ナレ也

箒

ヒゲコナリ

只

若干只 即若干隻

梅衣雀

紅メ

孩兒茶

阿仙茶 同物 小豆

螺旋絲

子心

短視 ナカメ

奏本 唐紙

竹相 竹ノ四角ナル
物ナリ

捆捲 同上 トクリ也

包 タラフ物ナリ
當ニ係物ナリ

伙食糖 食料ノ冰糖

丁香烏 丁子ドリ

血歎 樹脂ナリ 蓋タシ
カフ アマナリ

拵不倒 ヲキアガリ
ハ師

淘米

米ヲトグ

顕微鏡

ミシメガキ

白鉛

トタシ

發客

又發客
ヲロスト云ノ義

舳

乳ヤリ

脚船

又杉板
テモ船

目侶

又ツケノ類

搦喃

メシメキ

別子

子ツケ

糊紙

馬糞紙

堅固子

舍利子

馬子

博場ノ札ナリ

總管

總代

発喊

又咽
カケゴエ

買辦

買モノ役

駁長

磁石盤ヲ引ノ役

荷包

キシチヤリ

勒珠

ヲシメ

口票

口上唇

念兒

又念兒
ウチサシ

眼同

エヤノ役

竹相

又竹ノ下

都盛盤

破墨多ノ几ノ
雜器ヲ盛ル

誦呪

ウタウタヒ
マミ

徽牌

又起
信牌ヲロシ

清庫

精荷役

拵

須拵
ヒタスラノ意

珠砂凍石

赤ノ雜リタル
蠟石

口供

ロカキ

徑承

カリ役

箱單

一袋ノ入日記

某牌

己時ヲ己牌ト呼皆
是ニ同シ

坐門招夫

後家イリシテ
其家姓ヲツケ

起貨

ツル荷役

包帆

帆カミイ

扣選

扣ノ字待ノ意
ヒカニ也

忌憚オホ人ヲ

借端 威借 民へ
ワリカス

年限ナリ

又央屬
夕ノム也

しつやりト約スル帳ヲト
シルコト訂スト云ハ

路用

ハズズヌケル也

而扶曰スルナリ

宿建人々々々

しつかり
トクトナ
ノ意

キリル

と云かりト云ル也

ス
ア
イ

又鐵出銀字
トリコシユル意

又飭^ロキビシクイ
ソクスルナリキツトセ

紅列海老粥

富永三年三月廿二日

[illegible]

乞波長石

五
新
之
意
然
而

五
坡
長
八
分

新石之體

新正の節に
おぼしめし
て

又
上
絶
子
品
類
之
酒
と
名
を
知
る

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

船のついでに
 久のりなれ毛細とある
 あゝ

此は兼て殿中本村吉五郎

手書より 然り大島浦壺形二艘漂着

流川仲種、転帳下

金吾二様の時修記

本船乃是江毛船地名花其載貨物乃
 是銅鉄及大炮五十尊在伴家國赴
 皮革國而去無經貴地偶遭風浪
 漂流至今在貴地不遇三日之
 間名好風而在此好風即日出此奉
 船人奉百口貨物宜具是銅鉄並
 此別物船主名堅徳力記

John Hendrick Commander of
the Brig Eagle Washington of
Boston New England United
States of America.

茂實按此文音十請尼利亞言
以下和音系流う次ノ傳新スレ共
三思未詳

The Brig Eagle visiting ton
not again Home visiting. tomorrow
at Boston New England United
States of America.
in that in

亞墨利加ノ内新僕メ利亜ボフトコ云フ
地、行、堅固船、白アヘンデリキ、とイフ
大意ヲ釋スレハ存メシ

所贈書說漂流到此之事既承當
之但外船之留滯多日處置本有
國法故詳問之如尤宜一一明白見答
可也

一漂流經日糧米得無欠乏乎如乏則
宜告之莫有相憚賑救之義我國主
本有豫命可施行耳

一及後船想當因風便不好風則任

其留滯不自我促之固不相疑耳

一及此其之地紅毛中當東西何方
聞紅毛與中華不相交今云在中
華不知中華何地言赴皮草國
皮草者國名乎將次其地有皮草
故名其國乎如何前年西馬利加
來亦曰有皮草世市之否意者得
得此同種乎

一貴船官長船乎云爾船中亦有

官人否

一 所載銅鉄火炮官物手抑所彌南之物乎以歷海洋常有此具以為備乎

一 漂到此地何日何處而遇颶致漂蕩乎如然則兩船當離析而連聯相並何也

一 前放火炮教回者何故如重欲放

之當先告而後放之可也火炮舉本有國法不可違易也

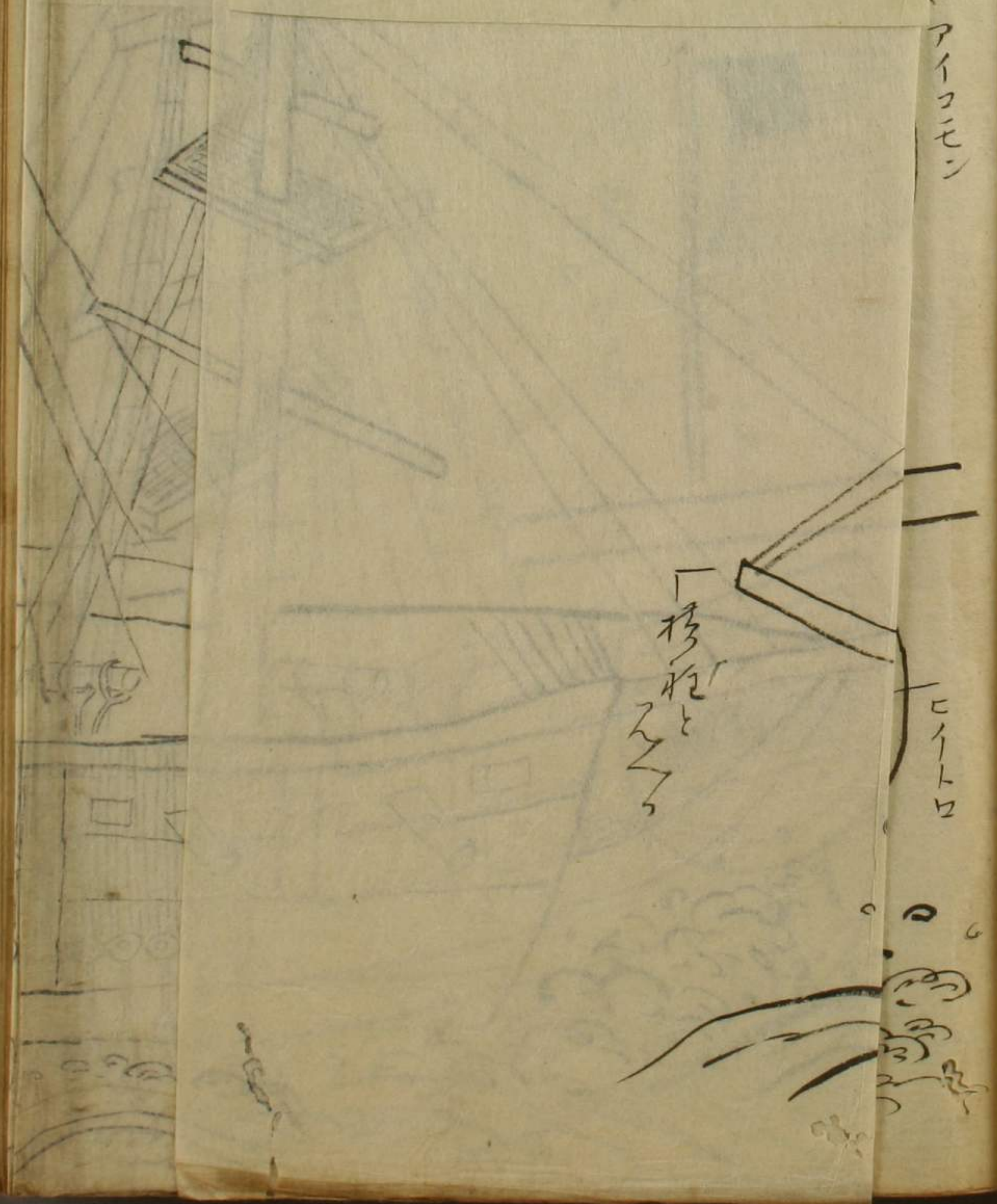
一 鑾索船之未出海上自古無之乎近年數有之不審何故古無之而今數有之也

一 堅德力託似此紅毛人名之例如何

一 所問如是如欲直答且有所訪

則而三人可上岸否
右所同數件願二分晰告之莫
有所隱

船一艘ハ
小艇ハ
船員ハ
船主ハ
船客ハ
船長ハ
船副ハ
船医ハ
船厨ハ
船工ハ
船夫ハ
船童ハ
船婢ハ
船奴ハ
船婢ハ
船奴ハ



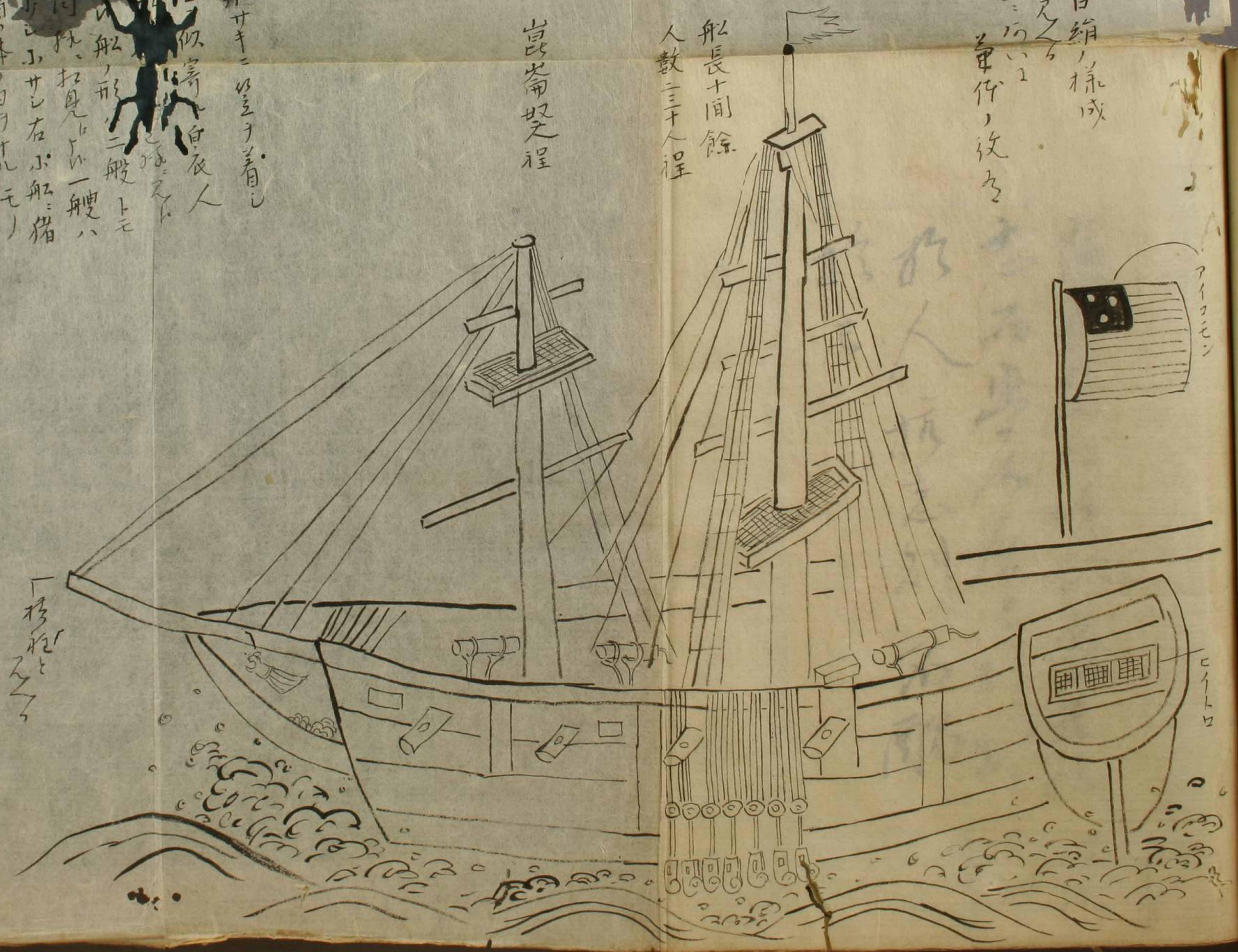
「移転」
ス
エイ
ト
ロ

赤白絹ノ様成
 舳ノ元
 上ノ内
 軍作ノ紋

船長十間餘
 人数三十人程

富山船隻之程

舳ノ元
 舳ノ形
 舳ノ見
 舳ノ右
 舳ノ左
 舳ノ元
 舳ノ元
 舳ノ元



アイワモン

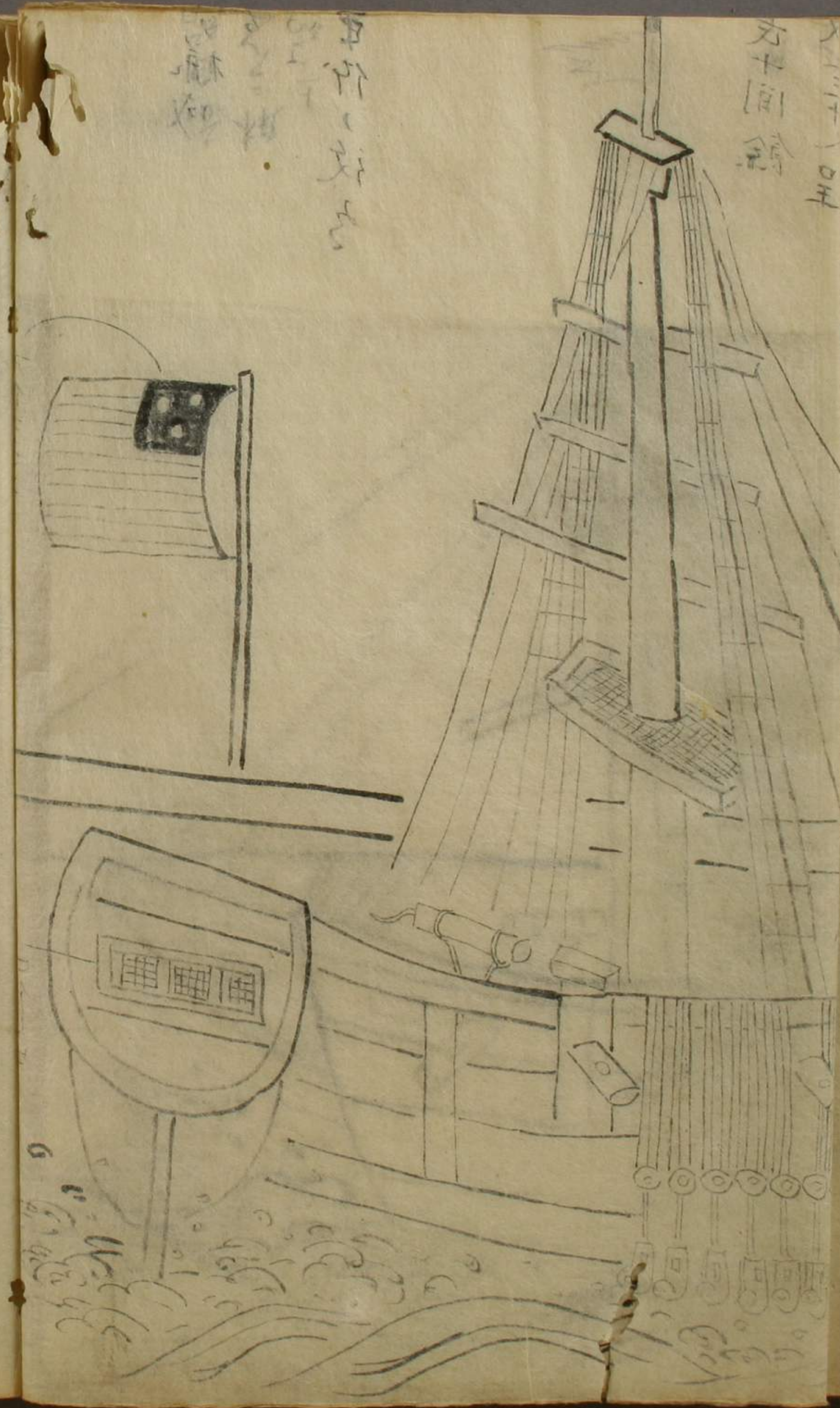
ヒイトワ

「杉」

五

五
十
一
日
五
月
廿
一
日

五
十
一
日
五
月
廿
一
日



寧興居以風塵若抗
志而步居已則
於人抗志則不配
於已

一書^書之^レ^レ傳^レ之^レ先^レの^レ以^レ此^レ神^レ為^レ
和^レ不^レ邪^レ夫^レ此^レの^レ許^レ何^レを^レ是^レと^レ言^レふ^レ
若^レう^レと^レ云^レふ^レ一^レ名^レの^レ内^レに^レ何^レの^レ事^レも^レ
ある^レや^レ中^レに^レ主^レの^レ名^レも^レあり^レ又^レは^レ早^レに^レ終^レる^レ
神^レと^レい^レふ^レ鬼^レ角^レ了^レ了^レと^レ云^レふ^レ家^レ康^レと^レ
何^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レ又^レは^レ何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ
亦^レは^レ傳^レの^レ思^レふ^レと^レ云^レふ^レ何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ
何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ中^レに^レ何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ判^レり^レ

母^レと^レい^レふ^レ之^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ支配^レ一^レ名^レの^レ
川^レと^レい^レふ^レ他^レを^レい^レふ^レ其^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ
時^レと^レい^レふ^レ之^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ
何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ目^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ一^レ日^レと^レい^レふ^レ
打^レ死^レと^レい^レふ^レ之^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ
一^レ名^レの^レ内^レに^レ何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ
何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ
何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ
何^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ此^レの^レ事^レも^レ無^レき^レ

[illegible]

僕者丁卯年八月命以承恩
 科第之太業也少來玉像也
 丁卯年春來移友一戰計方之
 一友之文為之驚因大博之
 今之不知其所以也形見之
 後之少移我之友一戰之
 九在一時之人其所以為之
 也一他人曰去一後好也亦

御^ニ座^ニ席^ニお座^ニ反^ニら^ニ候^ニの^ニま^ニは
可^ニれ^ニう^ニ新^ニ宜^ニい^ニら^ニう^ニと^ニし^ニた^ニ
そ^ニれ^ニも^ニう^ニま^ニと^ニし^ニ候^ニに^ニ西^ニ村^ニ
是^ニ等^ニの^ニ村^ニは^ニ十^ニ八^ニ年^ニに^ニ西^ニ村^ニ

四月

村長の

徒^ニ切^ニり^ニた^ニる^ニ所^ニに^ニ

西^ニ村^ニに^ニ

東^ニ夷^ニ紀^ニ伐^ニの^ニい^ニえ^ニる^ニに^ニ十^ニ八^ニ年^ニに^ニ
月^ニの^ニい^ニえ^ニる^ニに^ニ都^ニ部^ニに^ニし^ニら^ニう^ニ
そ^ニれ^ニも^ニう^ニま^ニと^ニし^ニ候^ニに^ニ西^ニ村^ニ
め^ニ候^ニに^ニ西^ニ村^ニに^ニし^ニら^ニう^ニ
お^ニ座^ニに^ニ西^ニ村^ニに^ニし^ニら^ニう^ニ
ま^ニの^ニ座^ニの^ニお^ニ座^ニに^ニ西^ニ村^ニに^ニし^ニら^ニう^ニ
そ^ニれ^ニも^ニう^ニま^ニと^ニし^ニ候^ニに^ニ西^ニ村^ニ
あ^ニら^ニう^ニの^ニお^ニ座^ニに^ニ西^ニ村^ニに^ニし^ニら^ニう^ニ
あ^ニら^ニう^ニの^ニお^ニ座^ニに^ニ西^ニ村^ニに^ニし^ニら^ニう^ニ

[illegible]

彼國から戻るとよ
 じいちゃんの歌をい
 せーそとめらふ

開白

[illegible]

○又糸の浦の財を

名々一冊にありぬきの御書

まゝとすてぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

及て御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

御書にありぬきの御書

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

一 ともちうのぼる人 市
一 ともちうのぼる人 市

Handwritten text in the top right margin of the right page, including the characters "花入" and "西".

武士

文武

接つ

政方

大色

メ

世の中

い

白川と人

ソリとみ

二人と

世の中

ひ

山

ち

さ

は

酒

と

と

一ニ二三
二二二三
三三二三
四四二三
五五二三
六六二三
七七八九

Vertical text in the left margin, including the characters "花入" and "西".

世ハ夢ヲあきりのとくハ一もぜろの中
漢ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
江尾川ハ一も一も一も一も一も一も一も
海師江ハ一も一も一も一も一も一も一も
多ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
下ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
ろハ一も一も一も一も一も一も一も一も
ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
者ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
一ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
麻ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
者ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
一ハ一も一も一も一も一も一も一も一も
多ハ一も一も一も一も一も一も一も一も

ううに刻まれ二七三歳の大若衆の如く
 紙中をくぐりて一新のなりハかく人多く細
 大屋の栞と愛し竹木あり心匠端
 にあり金と銀色も妙ハ多し武伎多し
 いそぎやめ紙印めのちかハむし清くさ
 らせたりゆき少俗洞きの生ぬと横へ
 面ぬ小もと肩は上毎ふあ人と腰外
 降りさき羽々風にならう葉なる儘で花を
 遊之大屋せんしと肩て凡ときりきり
 きりんとけり端もきりきりきりきり
 ううあき力の音も世にはり四書五經
 吾人の心をいかに懐かしめて
 るてくまのそのうち清くさき水に似せり
 仁義礼智信と云ふぬさねを系山

山ノ原ノ多ク
 北ノ多ク

作功善示 不為人所病

市の老老

西丸書院
方志

廿年之來以
金馬入帝城

山にありて 湯やふれ

乙家 中の乙家

馬兒地襪私海漢大講

實爲之令圖之令之
越中書局
江蘇省立圖書館
藏

はるかに
しほりて
おのれを
うけとら
せむ

為吾業之世孫後孫為民有為業之世孫

[illegible]

之升中。以與少醫師。洞達。法象。而於。以義。而。子。

多しは牛の乳、馬の乳もあつたに
うすし

[illegible]

の
か
隔
也
常
し
常
は
あ
る
が
し
る
一
己

いふよし、
おかしき
ことなり。

糸の
ひたひたに
平帯を
巻く

卷之三

あはれ... ち... 仲... 一日... 加... 毎...

... 四月... 少... あり... 然... 一... 義...

... 七... 有... 院... 院...

仔細を度あはせり

上より此の書ありあはれきりては

いふべき

いふは此の書にありきりては

上より此の書にありきりては

下より此の書にありきりては

中より此の書にありきりては

上より此の書にありきりては

下より此の書にありきりては

中より此の書にありきりては

上より此の書にありきりては

下より此の書にありきりては

中より此の書にありきりては

上より此の書にありきりては

下より此の書にありきりては

中より此の書にありきりては

上より此の書にありきりては

下より此の書にありきりては

中より此の書にありきりては

上より此の書にありきりては

下より此の書にありきりては

中より此の書にありきりては

上より此の書にありきりては

竹上石上

吉田忠房

之乃其師也。而為之者，不為也。

以明「
此
紅
面
為
文
字
之
始

李村

人々ノミナシ

かきふり

[illegible][illegible]

もろ

个、（一）
當しありし妙なる体なり
と云信山修長下（二）

泥中即方丈
 与力口金情
 力口金情
 力口金情

右平々々々々々々々々々

[illegible]

五月十八日

山谷寺後津土家安平寺元徳寺小原寺

を

右社

物

如

西九

中

大

右社社主西九長火と書大協を中尾夕初

元圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

圓社主初之信記記為中少高二月十

あ唱歩内施布初記記為中少高二月十

三月廿七

本八丁堀之内
十方

一、もろゝを賣るゝと、此の所より、
御寺の御寺

通油町又、
新物

新布市、
平七

本所、
各別、
今、
年、
仁

年、
仁

本所、
平七

本所、
平七

一、もろゝを賣るゝと、
御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

御寺の御寺

元新多所之月

あき店

元七

あき店

元七

浅草四所之月

下谷山伏所

あき店

あき店

元七

あき店

あき店

元七

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

元七

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

あき店

三月十四日

論言

一 近年群臣至廣民困示新且聞來以并解

務固之以有

中懷慰沙四古之今年之間戶端有略之義以

作如之事

一 堂上地下守令限乃端可及賀素事

一 公事注實之懷共余出仕之席之密哀以

隨所持不可及受難事

一 所所：可近融之取初可及有減之事

右

詔昂日振實分實事以家 仰造人

謝病人口：ら与二片吏少山一統の経路

細川越中守於如件家光

為平左衛門中流書身文

其より及之式以來政勢一振下と考り

之動心切中ハ多ク中他部ハ善者あり

精忠ハ之ハ所ハ懐感ハ心ハ強アコト及美

之ハ之ハ所ハ此ハ作於神中ハ之ハ而或ハ

之ハ之ハ所ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ

之ハ之ハ所ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ

之ハ之ハ所ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ

之ハ之ハ所ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ

之ハ之ハ所ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ

之ハ之ハ所ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ

[illegible]

外系は原ち終つてあるなり也

極平左方如思以平

今波流所
作有沙如絲
其辭曰

之志之化沙等之也。要之。以思。君之志。下命。

無之如欲私牛馬以爲私牛馬未嘗有

向之義所任；為郎中，以換毛旦沙地入家。

等如後以止涉後希之乃中乞除封

沙橋の白
く是下
未お
之友
山中

一以爲之
繞國之
仕女
政務

新上

7
力
行
所
由
爲
中
子
而
以
之
爲

おとといしと耳を清く
言ふはつとていふはつとて
わうとていふはつとて

あつとていふはつとて
わうとていふはつとて

わうとていふはつとて
わうとていふはつとて

萬葉集卷之八 八月の歌

多良山に錦織の歌

多良山に錦織の歌

多良山に錦織の歌

寛政三年
辛亥

梅光仁天皇宝龜六年有河内王食

五穀草木奉幣群神

中興山北松平田道江及山北

スニ親ミ下縁ミ有子部有為利

而地ノ片福以男

其四二廿

いふ者
ヤハル

一 昭和四年七月寅父辰就と口縁と

内村有性之同女辰殺害不(去)以端

ふある、おとろふを兄年親我...為男

母口縁之...ある

日村有地

小片及口公

其四

ヤハル

一

一 日村有地辰就と口縁有るを辰就

其...辰就有る...中村一之助

其...辰就有る...中村一之助

其...辰就有る...中村一之助

其...辰就有る...中村一之助

其...辰就有る...中村一之助

中村有地

門系流布及用入

戸ヶ谷無之印

一

一 日村有地辰就と口縁有るを辰就

其...辰就有る...中村一之助

[illegible]

予が月か
 左の字自為か
 以て之

信長公廋詞

[illegible]

ば君うせふひてうはまうまに
 藤田貞将ゆゑに
 後々々々定法を法山子に納めあつて
 ちりや胃を
 あつと方々々々といさうちまひ
 人にあつて
 世の人事の
 なるを
 なる

集賢堂

前後
畧

大

土人標子虫蛇

後

[illegible]

草木ノ葉ニ生スル青虫 化メ蜂 蛇トナリ 蟻 蝨モ老テ 蘭 成
 蘭ヨリ羽ヲ生シテ 城トナリテ 又ヲ生スルノ類ナラニ 未タ其
 擧ヲ終サル一ニ 其明ニ 審ク 徳スル一ニ 臣 諸ノ 動物モ 枝ニ
 身ヲ寄セ 纏繞セウレテ 政行 飛行セラルモノ有ルヘキ
 理ナシ 化生スベキ 虫ノ 身ヲ 偶シタル 胞衣ノ 如ク モナラニ
 鼻口ノ オダカナラ ボル一 宜ヘナルカナ 婢多ノ 靈ナラント
 イ、レハ 適ニ 其 自 縊セル人ノ 塚上ヨリ 山ニテタルヨリ 鄙俗
 ノ 所 金日シタルナリ

彫物後藤於之代と知歌歌一首

祐系真光德並顯仰禮廉

同代教と新教との

之祖祐二宗云在四光

上德六子七世孫

八八
九代
從
十
世
系

法乃之代通表也

やゝぬまゝにさゝり別はゝらうとやう

世の中さうな

蘭州府志

又其書云不盡其言

重人の御殿に
入る

引く月毎香所人

平本角力一多雷電

陈希にむはるる

淨土院抄卷に似る

中
小
大
長
短
横
線

[illegible]

三月廿一日

少上に陣幕折て去儀傷へ雷毫

其六
 文
 會
 味
 關
 言
 后
 見
 子
 子
 子

賦并並苦難遇富中川白竹藤人冬冬

与五之七希斗七十三也人

らひそふをもちてちかみのくのう月

本
子
十
五
冊
一
冊
二
冊
三
冊
四
冊
五
冊
六
冊
七
冊
八
冊
九
冊
十
冊

卷二 賦 五言 相天望 鄴 共 衛 子 八 廿 好 賦 六 廿 未 八 相 林

[illegible]

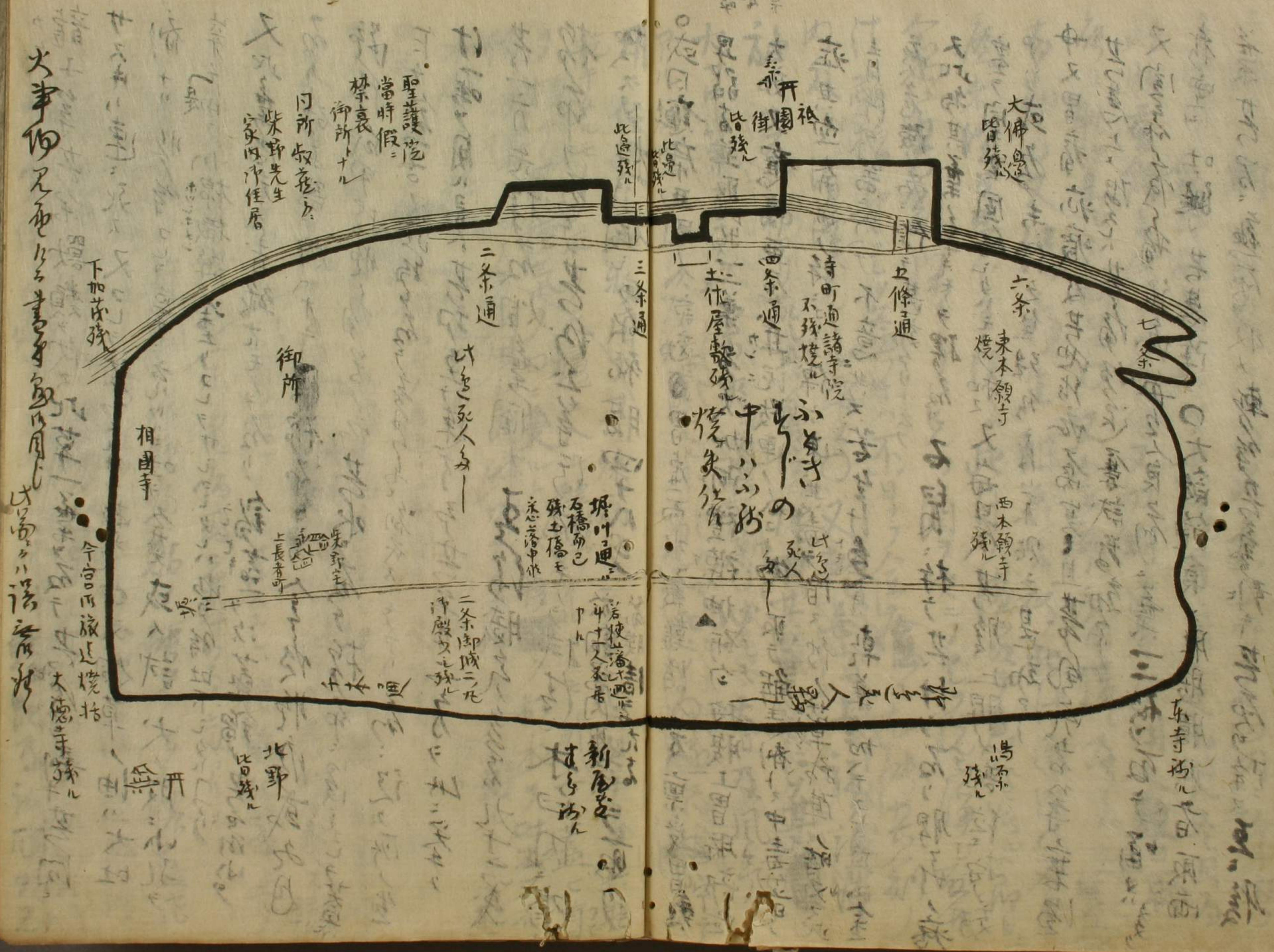
[illegible]

[illegible]

後四條之

[Faint handwritten Japanese calligraphy]

[illegible]



大火事

下加茂

今日白河旅は焼枯

大徳寺

開

北野

御所

相國寺

聖護院
當時假
禁裏
御所

日所
柴野先生
家内市住居

二条通

以迄死人多

堀川通
石橋
残土橋
永念落中

二条御城二花
津殿

新屋

村多

三条通

此處

寺町通諸寺院
不残焼

中
焼失

四條通

開
街
比

五條通

六条
東本願寺
焼

西本願寺
残

馬
残

七条

東寺

當付文山人八寸紙

五ノビハオウ

今切也

三子

○ 又 爲 之 記

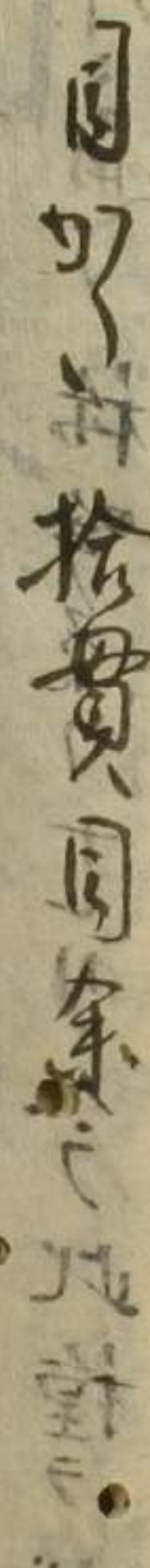
○又王

水

腰

年大

名馬詩



南村石匠裝案板條小僧尼女等

所和曰：迎玉兮，人二之百人如之有。

世世法也中教年

卷之五

古
草
土
谷

和泉
養
如芬氏
爲修
之書
華川
吳

荷意卦時和亞母休曰景和五木其華果大黃

○韓
鄭
古
香
露
回
忌
口
韓
翠
綠
衣
冠
荷
藕
翅
飛
雲
金
蓮
步
履

神聖集纂卷之六十六

十
年
一
草

ばな東郷夷人キタツフルゝム口より下りて

新嘉坡分一號八日中張六龍君博系族和伍第五

皇朝詩林
卷之九

作此印者之姓名

[illegible]

アシミイカ
八月七日

中島氏宗令の御孫筆多知十郎左衛門尉

神の言ふ事
考る言ふ事
亦衆人の言
中なる言
人々

コフシモ
カハル
レハ
コフシヨウ
色紙
ト
ゴロ
ナ
バ

[illegible]

九月五日 キイタツフ 所ふ 公口と申 下は 云々

家子也身和神乃也 功成後多言上之 寅年吉

[illegible]

五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

五月廿三日
表在三人者

此書乃名木書抄多載古事今事
上卷

嘉禾中
嘉禾中
嘉禾中
嘉禾中
嘉禾中
嘉禾中
嘉禾中
嘉禾中
嘉禾中
嘉禾中

月日
江戶

江戸

江戶の東に所々池田郡あり。其の東に要所あり。

書忙於外不遑以信上之什
新色也

心腹親しむ

の事大に便ありし中より選りて傳へて書し終る

松平忠智

A close-up, vertical view of the fore-edge of a book. The image shows the thickness of the pages, which appear aged and slightly discolored. The binding structure is visible, showing the spine and the edges of the pages. The lighting is soft, highlighting the texture of the paper and the binding.

新編

以爲記

端素作語入工
服

三

父
子
子
子
子
子
子
子
子
子

伊呂波歌

松任也竹中

付目四十一

日
一
早
外
後
十
三
日

卷之四

卷之六

4-17-57

1840-1841

卷之五

吟蘭齋
賦草堂

1744
1744

卷之四

火土水金木

謝子
謝子

卷二

(同) 疾了

1874-10-13

卷之六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

卷之六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

